

第2550地区 新入会員紹介



おおがき ひろあき
大垣博昭
(今市RC)

大垣博昭税理士事務所 所長
平成22年7月28日入会
・分からないことばかりですが、よろしくお祈り致します。



やまざき すけお
山崎祐夫
(小山南RC)

株式会社鈴木屋商店 代表取締役
平成22年8月3日入会
・再入会です。地域社会との連携を益々密にして社会に貢献出来ればと思います。



ざんま まさゆき
残間政之
(大田原中央RC)

(有)残間建材 代表取締役
平成22年9月1日入会
・よろしくお祈り致します。



たてばやし たかゆき
館林貴之
(大田原中央RC)

株式会社館林工業 代表取締役
平成22年9月1日入会
・よろしくお祈り致します。



さくま ひろし
佐久間寛
(宇都宮西RC)

株式会社ウインテック・ソリューション
平成22年9月9日入会
・これからの人生で少しでも役に立てればと思います。



さかもと ひろし
坂本浩司
(宇都宮東RC)

日本生命保険相互会社 宇都宮支社長
平成22年9月10日入会
・伝統ある宇都宮ロータリーの一員となり大変光栄です。宜しくお願い致します。



てつか まさとも
手塚正智
(宇都宮東RC)

手塚内科 副院長
平成22年9月28日入会
・伝統ある宇都宮東ロータリークラブに入会できて光栄です。何卒宜しく御祈り申し上げます。



さいとう ひであき
齋藤秀明
(宇都宮東RC)

戸祭タクシー(株) 代表取締役社長
平成22年9月28日入会
・リーズナブルな料金設定の戸祭タクシーをご利用ください。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

■物故会員■ 謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。



物故
平成22年8月16日
享年74歳

なかむらきょうぞう
中村恭三様
(宇都宮東RC)

■ロータリー歴 昭和44年11月4日入会
1990~91年度 幹事
1992~93年度 副会長

■財団・米山記念奨学金などの寄付歴
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー②

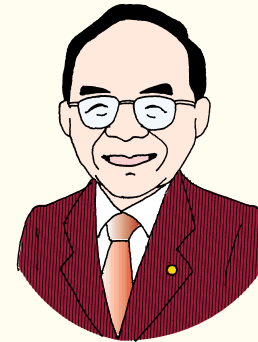


物故
平成22年9月14日
享年73歳

ふじいよしお
藤井義夫様
(足利RC)

■ロータリー歴 昭和45年7月31日入会
1990~91年度 会長(第39代)
2000~01年度 第6分区分会副会長
2001~02年度 地区職業奉仕委員
2002~05年度 地区新世代委員長(3期間)
※一度も休まず(メイクアップはしましたが)今年7月で40年皆出席でした。

■財団・米山記念奨学金などの寄付歴
ポール・ハリス・フェロー
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー②
米山功労者



職業倫理観をさらに高めよう!

国際ロータリー第2550地区
2010~2011年度ガバナー

瀬下龍夫

奉仕は自らの善意で行うものです。したがって、誰も反対給付は期待しないでしょう。国際奉仕、社会奉仕、クラブ奉仕のいずれに参加しても、見返りは考えません。

一方、職業は生活の糧を得るために行うものです。したがって、利益という反対給付は付き物です。反対給付が無ければ職業にはなりません。この点が他の奉仕と職業奉仕が違う点です。職業奉仕を分かりづらくしているのはこのためでしょう。

職業奉仕の目指すところは、あなたが職業の倫理的規範に忠実であること、高度の倫理基準を推進することにあるのです。

ところが、今日のような経済状況では、誘惑に負け経済的不祥事を起こす人も多くいます。私が職業倫理を強調するゆえんです。倫理的とは、法律違反でなければよいというものではありません。法律は守るべき最低限です。逮捕されなければ、起訴されなければよいというものではありません。倫理のレベルは人々により異なりますが、法律以上のものです。それだからこそ、自らを律し、絶えず倫理観を高めて行く必要があるのです。

近江商人には「三方よし」という掟があります。「売り手よし、買い手よし、世間よし」です。行商先の人々の間に信用を築かねば商いは成り立ちません。四つのテストの3番目、好意を深めるかは、信用を築けるかの意味もあります。近江商人は行商ですから店を構えていません。信用が大切なのです。なぜなら、毎年同じ地方を回るからです。でも自分の生活の糧を得るためには、儲けなければなりません。売り手よしです。しかし、儲けのために誤魔化してはいけません。信用を失っては翌年の商いに差し支えます。買い手も得をしたと思うような取引をしなければいけません。買い手よしです。四つのテストの真実かどうか、公平かの原語はそういう意味です。売り手の信用を買い手に渡し、買い手から感謝の気持ちを戴く。買い手が満足すれば、継続して求めてくれます。最もよく奉仕する者、最も多く報いられるのです。

それだけでは不十分です。自分の生活している地域社会のために貢献することが必要なのです。世間よしです。仕入先、販売先などの取引関係、従業員、同僚、株主、同業者、金融機関、お世話になっている専門家の方々、行政当局などに対してひとしく公正で、かつ、役立たねば世間よしとはなりません。これはまさに四つのテストの第4番目のみんなのためになるかの原語の意味です。

職業月間は過ぎたのに、なぜ職業奉仕を説くのか。職業奉仕は10月だけのものではないからです。1年12ヶ月、365日、1日24時間絶えず職業奉仕なのです。職業奉仕が無ければ、ロータリーは他の寄付団体と同じになってしまいます。

地区大会で、道下RI会長代理は、地域に誠実、信用、信頼の職業奉仕の原点を展開する時、ロータリーは生き返ってくと信じておりますと力強く申されました。

これからも絶えず職業奉仕の原点を忘れずに活動いたしましょう。



ロータリー財団活動の現状

国際ロータリー第2550地区
ロータリー財団委員長

近藤 隆 亮
(宇都宮)

11月は国際奉仕月間です。ロータリーの国際奉仕はロータリー財団抜きには考えられないでしょう。ロータリー財団の歴史は既承の通り、1917年RI会長アーチ・C・クランフの提唱した「世の中に善いことをやろう」（ロータリー基金）に始まり、1983年米国イリノイ州のNPOとして設立された「国際ロータリーのロータリー財団」として現在に至っております。

RI及び財団管理委員会により、2007年6月、ロータリー財団の使命は、次のように決議されています。即ち、「ロータリー財団の使命は、健康の増進、教育への支援、および貧困の救済を通して、ロータリアンの世界理解、世界親善、および世界平和の促進を支援することである。」

上記の通り、ロータリー財団の使命は、ロータリアンの活動を支援することにあります。その具体的内容が、ロータリー財団の2008-09年次報告書及びゾーン研究会に於いて下記の通り報告されています。

<2008-2009年度R財団寄付金・使用実績金額>

寄付項目	金額	%	使用項目	金額	%
年度寄付総額	22,380万ドル	100%	年度使用実績	14,900万ドル	100%
ポリオ・プラス	10,970万ドル	50%	ポリオ・プラス	8,780万ドル	59%
年次プログラム基金	9,930万ドル	44%	人道的補助金	3,730万ドル	25%
恒久基金	1,160万ドル	5%	教育的プログラム	2,240万ドル	15%
その他	320万ドル	1%	その他	150万ドル	1%

註：2008-09年度R財団プログラム運営費総額：1,860万ドル（3年次前の寄付金運用益充当）

<2008-2009年度R財団主要プログラム概要>

- ポリオ・プラス2億ドルチャレンジ・プログラム：2009年末既に1億ドル達成
- 3Hプログラム補助金：新規16件のプログラム承認、合計340万ドル授与
- マッチング・グラント：新規1,560件のプログラム承認（122カ国）、合計2,680万ドル授与
- 地区補助金：新規407件プログラム承認、合計720万ドル授与
- ボランティア奉仕活動：167件（52カ国への渡航）承認、合計70万ドル授与
- ロータリー世界平和フェロシップ：50名（2年間）（33カ国）、総費用380万ドル、36名（専門能力開発終了）、総費用50万ドル
- 国際親善奨学金：651名（71カ国より87カ国へ）、総奨学金1,320万ドル
- 大学教員のための補助金：22名（6カ国より17カ国へ）、総額30万ドルの補助金
- 研究グループ交換（GSE）：565チーム、総額400万ドルの補助金

<ロータリー財団の財務状況>

2010年7月2日ゾーン研究会に於いて田中作次直前TRF管理委員より報告されました。

- RI財務状況の改善：会計年度最初の9ヶ月間の投資収益=1,700万ドル（2009年度損失1,210万ドルを既に上回った）
- TRFの投資収益：現在9,200万ドル、2009年度損失の約半分以上を取り戻した。
- TRF運営予備金：現在+300万ドル、2009年6月時点の-4,100万ドルから大幅改善。
- 財務状況の改善により、2010-11年度、2007-8年度と同レベルの、MG,WF予算承認。
- Polio-Plusの2億ドルチャレンジは、7月1日現在1億3,300万ドル達成。

ガバナー公式訪問たより ※ガバナー公式訪問たよりの掲載が、編集の都合により前後することがありますので、ご了承下さい。

栃木西ロータリー・クラブ

例会日 平成22年8月31日

会長 狐塚 育男 幹事 中澤 健治

8月31日(火) ホテルサンルート栃木において、瀬下ガバナー、石村第6グループガバナー補佐、地区副幹事渡邊様をお迎えして栃木西ロータリークラブへの公式訪問が行われました。

午前は予め提出した報告書に基づき、クラブの目標、事業報告の意見を中心に懇談しました。

当クラブテーマ「ロータリーの素晴らしさをもっと広めよう」の為にマニュアルを作成し配布したことを瀬下ガバナーより大変素晴らしいとお褒めいただき、今後のクラブ運営についても大変参考になる御指導をいただきました。

特に職業奉仕に関する意見を拝聴し、素晴らしい時間を過ごす事ができました。午後は、瀬下ガバナーの挨拶でスクリーンに映し出されての「ロータリーの特質は多様性・高潔性」のお話は特に印象に残りました。

次にクラブ協議会が開かれ、各委員長より活発な質疑があり、親切にお答えいただきました。

瀬下ガバナーのいきごみを感じながら、RI地区を理解し、様々なアドバイスをこれからのクラブ活動に活かして行く事を誓い、公式訪問の報告とさせていただきます。



大田原ロータリー・クラブ

例会日 平成22年9月2日

会長 中井 本秀 幹事 鳥飼 俊夫

9月2日(木)、瀬下ガバナー・小野田ガバナー補佐・茂穂地区副幹事をお迎えして、いよいよで公式訪問が行われました。

瀬下ガバナーは、午前10時過ぎには到着され、早速プロジェクターの準備ですとか、スクリーンの位置等の確認をされ、卓話の準備をされました。午前11時から、会長・幹事との懇談会が開かれましたが、当クラブからは他に7名が出席をいたしました。瀬下ガバナーは、クラブの現況報告書を詳細に読み込まれており、ロータリー財団の寄付についてのご指導、クラブ定款の改定と審議会決議との関係など細かくご指導をいただきました。

その後の例会では、国際ロータリーの長期計画について、わかりやすく、ビジョンや三大優先事項、更には中核となる価値観などについてお話をいただきました。そして、バナーの交換後、クラブ協議会が始まりましたが、各委員長が4人くらいづつまとめて事業計画に基づき活動の報告をいたしました。中でも、10年以上引き続いて活動を続け、RI会長の「意義ある業績賞」をいただきました善勝川の清掃活動につきましては、高い評価をいただきました。当クラブは、中井会長の「充実した楽しい例会を通して意義ある奉仕をしよう」のテーマのもとに、各委員会が活動を続けておりますが、瀬下ガバナーから各委員会の活動に対する懇切丁寧なアドバイスをいただき、ロータリーの奉仕の精神についての理解を深め、地域社会に職業をとおして貢献することの大切さを改めて認識することができました。瀬下ガバナーの公式訪問で、ご指導いただきましたことを糧に、今後のロータリー活動をより活発なものにしてまいりたいと思っております。



葛生ロータリー・クラブ

例会日 平成22年9月7日

会長 谷 和文 幹事 岩崎 昇一郎

9月7日(火)午前10時30分、記録更新中の猛暑・酷暑のなか、会場の葛生あくとプラザに瀬下龍夫ガバナー、小玉新第9グループガバナー補佐をお迎えしました。

11時より吉澤兵左バスターガバナーを交えて懇談会が行われ、自己紹介の後、谷会長からクラブの現況について報告がありました。瀬下ガバナーは、現況報告書の表紙(川合玉堂作)「孟母断機」は、自分の人生によく似ていると大変興味を持たれておりました。報告書の内容では、「四つのテスト」が日本語・英語で掲載している事に触れ、英語版を瀬下ガバナー一流の訳で解り易く解説していただきました。また、年間プログラムは写真を使用した説明で、状況が解り易いので今後も続けてほしいと評価され、名簿等の個人情報掲載にも触れ詳細にわたりご指導、ご助言を頂きました。

例会では、瀬下ガバナーの卓話として、国際ロータリーの長期計画について持参されたプロジェクトを用いて、ユーモアを交えながらとても解り易くご説明頂きました。限られた時間での内容のあるお話でした。

引き続き、クラブ協議会に入り、谷会長より、会長テーマの「50年の思いを、地域に発信」についての説明の後、各常任委員長を中心に活動状況や、事業計画の発表がありました。質疑応答では、CLPによる組織編成や、地区委員の選出についてなどの質問も出され、内容の濃い協議会であったと思います。今回も、青藍泰斗高等学校インターアクトクラブの会長・幹事も参加し、充実した暑い公式訪問の一日でした。



栃木ロータリー・クラブ

例会日 平成22年9月8日

会長 若林 芳明 幹事 須藤 隆志

栃木ロータリークラブのガバナー公式訪問は前日までのきびしい残暑がひと段落し、台風の影響で小雨が降る9月8日(水)に行われました。最初に行われた懇談会では、クラブ現況報告書の内容について細かなところまで質問やご指摘をいただきました。現況報告書は毎年の作成でマンネリ感が否めませんでした。ガバナーのご指摘を参考に本来の報告書のあり方や時代に合った報告書の作成に役立てたいと思います。

例会ではガバナーよりロータリーの長期計画について卓話をいただきました。ご自身で作成された資料をもとに熱く長期ビジョンを語っていただきました。

クラブ協議会では当クラブ各委員会の代表14名による活動状況及び質問等に対し、一人ひとりそれぞれの立場を尊重し丁寧に講評やガバナー独特のユーモアをまじえたアドバイスをいただきました。「現状を良く見つめ刷新することを考えよう、ロータリーの会員でない人にもロータリーの良さが伝わるよう行事にニュース性を持たせる工夫をしてもっとPRしよう。」とのお話は当クラブの今後の活動に大変参考になりました。

公式訪問の終了後に当クラブの正副会長、幹事をまじえてコーヒーを飲みながら談笑する時間を持てたのも大変有意義なことでした。



宇都宮北ロータリー・クラブ

例会日 平成22年9月9日

会長 山口 慶之助 幹事 永田 博康

宇都宮北ロータリー・クラブの公式訪問は、9月9日の救急記念日に行われました。11時より瀬下DG・矢嶋G補佐・茂櫛壬生会長をお迎えし、当クラブからは山口会長・山本会長エレクト・永田幹事・小倉副幹事を交えて懇談会を開催しました。

瀬下DGと山口Pのお二人のプライベートのお話から始まり現況報告書の内容にうつり定款・細則との整合性を確認されました。定款の和訳の間違ひがあり、英文との比較検討が必要であると指導を受けました。4つのテストを職業奉仕を引用なされ独自の解釈で説明をされとても身近な物であることを再認識させられました。現況報告書はクラブの独自性があり特徴のある完成度の高いもので有ると矢嶋G補佐、共々の称賛を受けました。

山口Pから予備の現況報告書を地区内のクラブと交換したいとの提案があり、瀬下DGからは、個人情報に充分注意し取扱う物で有ると指導をうけました。

クラブ会長ノミニニーの選出については、出来るだけ早く確定しクラブ運営に携わるのが望ましいとお言葉を頂き12:25で懇談会を終了させました。

12:30から拍手に迎えられクラブ例会に参加、各委員会の報告を聞き、共に食事をされ、1時より瀬下DG手作りのPPを使用したロータリーの長期計画(Strategic Plan)を話されビジョンを明確に示され、ロータリアンの基本・心構えにまで及ぶ感銘させられる講話を頂きました後、バナー交換を済ませ全員で記念写真に収まりました。

記念写真撮影終了後移動、クラブ協議会を開催しました。

山口Pより双方向からの意見交換形式での協議会との司会進行を宣言され始めました。

瀬下DGから地区のロータリアンの減少にふれられ、一般の人々にロータリーの心を植え付け広げる事が必要でロータリーの持続と繁栄がそこに有るとのお話をされました。

続いてG補佐・DGの推薦状況と現状、当クラブ創立25周年記念事業・姉妹クラブ推進・会員増強・R財団・米山奨学会・新世代・職業奉仕・社会奉仕の各委員長からの質問を受け、瀬下DGの的確なアドバイスと体験を踏まえた実例をもとに心温まる回答を頂き、今後のクラブ運営の大きな指針となる御指導を頂きました。

宇都宮北RC会員、大変身に着く意義のある貴重な時間を2:50まで共有し拍手にて閉会いたしました。



黒羽ロータリー・クラブ

例会日 平成22年9月10日

会長 吉成 慶司 幹事 郡司 昌尚

黒羽ロータリークラブのガバナー公式訪問は、9月10日(金)に開催されました。

瀬下龍夫ガバナー・小野田ガバナー補佐・刀川地区幹事・茂櫛地区副幹事をお迎えし、吉成会長、郡司幹事のご案内のもと例会会場にお越しいただきました。

瀬下ガバナーによる卓話は、プロジェクトによる長期計画についてわかりやすく卓話を頂きました。例会後クラブ協議会を開催し、各委員会より現況報告書に基づいた委員会活動の内容を発表し、質疑やその活動に対する思いをガバナーに伝え、活動にあたっての助言を頂き、今後のクラブ活動や委員会活動の具体的な指針を明確に示していただきました。瀬下ガバナーより「これだけ詳細かつ正確にまとめた現況報告書はなく、この報告書からもクラブの規模の大小ではなく、一人ひとりの会員としての意識の高さが伺われます。」とおほめの言葉を頂きました。「是非ガバナーを出してほしい。」との言葉を頂きました。また、小野田ガバナー補佐より「公式訪問6か所目ですが、熱のこもった協議会は黒羽ロータリークラブが初めてです。」と感想を述べられ、会員一同恐縮すると同時に、奉仕活動に意欲を強くし、今後のクラブ運営に活かしていきたいと思っております。



9月15日第5グループ5クラブの先陣を切って小山北RCガバナー公式訪問が、瀬下龍夫ガバナー、森容子ガバナー補佐をお迎えして開催されました。ガバナー補佐の女性ならではの気配りでガバナーに花の手作りコサージュのプレゼントがあり、緊張の中にも和やかな雰囲気で開催されました。懇談会では、会員数減少に伴う予算組みや節約の仕方へのアドバイス及びクラブの活性化についていろいろとご意見を頂きました。また、ニコニコボックスのお金の使い方については、ただ寄付するのではなく寄付することの意味を良く考える必要があるというご意見も頂きました。例会では、ロータリーの2010年度から2013年度3年間の長期計画を伺いました。またロータリーというのは高度に倫理的な組織であることを一般の方にわかるような行動をすること、それと同時に我々ロータリアンが中核となる価値観が何であるのか十分認識し職業奉仕をすることで、超私の奉仕ができビジョンの達成もできることになるというお話がありました。当クラブでは来年第17回になる少年柔道大会を主催しており、小山北RCが一般市民に最もPRしている継続事業と位置付けたものです。市民にも定着しつつありガバナーからもお褒めのお言葉を頂きました。各委員会の事業にも多くのアドバイスを頂き、ガバナーのお人柄もあり終始和やかな雰囲気の中で終了することができました。貴重なご意見をありがとうございました。



9月16日(木)、久しぶりの雨の中、瀬下ガバナー、壬生RC刀川様、松本様が小山グランドホテルに到着し、懇談会出席者全員でお迎え致しました。懇談会は、ガバナーのざっくばらんにどうぞという、和やかな雰囲気の中行われました。壬生RCの奉仕活動の事例を出して頂きましてお金を掛けなくても地域に密着した喜ばれる奉仕活動ができることを教えて頂きました。森ガバナー補佐から提案がありまして、「小山からガバナーを出して頂きたい」という意見に大森会長より小山からガバナーが出ない経緯の話がありましたが、ガバナーは「ぜひ、小山さんから出して頂きたい」という話になりました。現況報告については、細かくチェックを頂きまして次年度に活かしたいと思えます。クラブ例会は、大森会長からロータリーの1年間の行事でガバナー公式訪問は非常に我々の気持を引き締めて1年間の事業を展開するのに大変参考になる1日であります、という挨拶にはまりました。瀬下ガバナーの卓話は、

- ・ 伝統あるクラブでも世の中の流れや地域社会のニーズに合うように刷新すること。
- ・ 次の世代につなぐために若いリーダーを育成すること。
- ・ 世間の人達にロータリークラブが何をやっているかご理解を頂くこと。
- ・ 会員相互の取引を活発にすること。

という内容の話でした。クラブ協議会は、ほぼ全員の委員長の質問にガバナーがいろいろな過去の事例、自分の体験談を交えながら熱く語って頂きました。知らないことばかりでとても参考になりました。今日は、ガバナーから「刷新」という言葉を何回も聞きました。常に新しい試み、新しいいい物をどんどん取り入れるということだと思います。そういう気持で頑張りたいと思います。ありがとうございました。



地区大会に参加された方は半分弱です。その方たちにも道下様のお話を是非読んでいただきたく、11月の月信に掲載いたしました。参加された方もう一度お読みくだされば大いに役立つこと間違いありません。

道下先生にとってロータリーは何であったのかお分かりいただけると存じます。

ガバナー 瀬下龍夫



R.I 会長代理メッセージ

国際ロータリー第2550地区
地区大会 R.I 会長代理

道下俊一様

皆さん、お早うございます。2500地区パストガバナーの道下でございます。石原ガバナーの時、鹿沼へ参りました。2回目の訪問でございます。受け入れて下さった瀬下ガバナー、地区の皆様へ感謝致します。

本日、福田知事、小菅町長さんのご臨席を得、地区内外からの御来賓、会員多数の参加を得て昨日より2550地区大会が盛大に開催されていることをお祝い申し上げます。

レイ・クリンギンスミス会長代理として皆さんにご挨拶申し上げる機会を与えられたことに感激して居ります。

私にとってロータリーは何であったのかお話しします。

十勝沖地震津波

戦後間もなく大学を卒業した私は、札幌での開業を目指して大学で研修して居りました。昭和27年3月4日、北海道太平洋沿岸に地震が発生し、道東の霧多布が津波に襲われ流水が街をつぶしていきました。十勝沖地震津波です。これが私の人生を大きく変えることとは夢想だにしなかったのです。

一路霧多布へ

テレビもない時代ですから続報は入って来ません。津波も霧多布も忘れて研修して居りました。暮が迫った時、教授に呼ばれました。「君、年が明けたら霧多布へ行ってくれ給え、日赤の分院がある。僻地医療を経験するのと、今年津波にやられたところで、恐らく伝染病が出ると思われる。今教室で伝染病に対応出来るのは君だけだ。一年の長期になるが行ってくれ給え。」

「そんな怖いところへ行かない」と言う家内を何とか説得して、年が明けて昭和28年2月吹雪の中一路霧多布を目指しました。闇に包まれていく札幌の街の灯に一年たったら、この灯が又見える、頑張つてしようと自分に言い聞かせていました。

12時間かかって浜中という小さな駅に降りました。吹雪のあとで浜中と霧多布を結ぶバスは不通でした。ブルドーザーなし、自家用車一台なし。13kmの道を歩いての赴任になりました。滑ってころびそうになる家内に手を差し伸べ、肩をかしてやっと霧多布へ辿り着きました。津波から一年もたつのにまだ潰れたままの家も、小屋も、原野に流されたままの船がありました。これが診療所ですと教えられたのは明治初年に建てられた平屋建て、ペンキも剥げ落ち日赤のシンボル、レッドクロスも色褪せていました。中へ入ってみると4~5人で一杯になる待合室、



診療室のガラス戸を開けるとナースが二人編物をしていました。事務室は裸電球の下で職員が伝票の整理をしていました。用務員室には耳の遠い老夫婦がいました。一緒に働く5人との面接は終わりました。但し、強烈なクレゾールの臭いと古い小さなレントゲンが何とか診療所の

呈をなしていただだけで、昨日までの大学病院との格差に愕然として廊下ずたいの住宅へ行って畳の上に座り込んでしまいました。しかし、その時沿岸52kmに点在する集落17、人口8,000人にたった一人の医師である責任を感じなければなりませんでした。

霧多布とは

釧路と根室の中間にある小さな集落です。一時間東へ走ると北方領土が目の前にあります。一自治体としては昆布の生産は上位です。ハーゲンダッツのアイスクリームの原料は浜中の牛乳です。100種以上の高山植物があるラムサール条約で批准された霧多布湿原があり、外国の植物学者が来ます。むつごろうの動物王国がありました。もう一つ、現在劇画の世界でテレビ、映画で「ルパン三世」をひっさげ、世界にとんでいるモンキーパンチは私のところから出ていきました。「私の絵を一番先に認めてくれたのは道下先生でした。道下先生との出会いがなければ今のモンキーパンチはいなかった。」そんな嬉しい付き合いが50年続いています。

診療を始める

翌日から診療を始めました。患者さんは全然来ません。ナースはストーブに当たり乍ら編物をしています。昼近くなって一人の老婆が来ました。「お前さんが今度来た医者かい。どうせすぐ札幌さ帰るんだべ。だけど手がかゆくて眠れない、診てください。」目やにが出る、肩がこる、腰が痛い、指が化膿した、そんな患者が一日目6人でした。

3日たっても、1週間たっても同じでした。私はネクタイをはずしました。ワイシャツを脱ぎました。霧多布弁を習いました。往診には防寒帽をかぶり、ジャンパーを着て長靴を履きました。道で合う村人にはこちらから会釈をしました。以前来てくれた人には「元気か。変わり無いか。」声を掛けました。

2ヶ月たって患者さんは廊下まで溢れてきました。救急車もない、自家用車も一台もないので往診は8kmまでは歩いて往診でした。ある吹雪の日、対岸から往診の依頼があり、馬そりを頼みました。文字通り馬そりで幌もありません。湯たんぽを抱いて毛布3枚、4枚頭からかぶって吹雪の中を走りました。昭和48年救急車が来る迄何十回走ったことでしょう。モンキー

パンチがアイディアにつまった時、ペンを置くと何時も道下さんが吹雪の中を走っていく姿が浮かんで来て、あれがプロだ、俺だってプロだとペンを握り直したと云っていました。

夏になると各集落に焼玉エンジン船が何隻かあるのが分かりました。船を往診に使いました。ある夜、湾の真ん中でエンジンが動かなくなり、朝まで流されていることがありました。

一度だけ命がけの往診がありました。浜中の一番端の藻散布（モチリップ）の武蔵じいさんがしけてくるから早くやめようと云う時に駆け込んできました。「先生孫ば助けてけれ、3日も4日も熱が下がらない、飯も食わないだ。船で行ってけれ」応急の薬、点滴を持って船に飛び乗りました。

霧多布は半島で外海は大平洋です。岬をかわしたら波が荒くなって来ました。船は大きくゆれ出しました。風も出て来ました。夕闇が迫って来ました。波はだんだん荒くなって来ました。進んでいるのか押し戻されているのか、波が静かな時は40分位で着くのが1時間たっても、2時間たっても着きませんでした。私は往診鞆をしっかりと抱いて杭につかまっていました。2時間過ぎた時、岸にかがり火が2～3ヶ所見えました。松明が浜を走っていました。「先生、あそこがモチリップだ。」武蔵じいさんが舵を握り直しました。土に足が着いて助かったと思いました。かがり火、松明は船を出したと聞いたモチリップの長老達の知恵でした。

長老に抱きかかえられるようにして患者の家へ行きました。ジャンパーを乾かしてもらい、聴診器を温めて孫を診ました。はしかで肺炎を起こしかかっていました。注射をして点滴もやり、今後の療養の指導をすると母親と婆さんは畳に額をつけて感謝をしていました。命がけの往診も甲斐があったと思いました。

帰りは馬になりました。携帯も無く連絡がとれず、しけてくる海に船を出すなどの連絡を貰った家内は一睡もせず私を待っていました。馬から飛び下りた私に抱き着いてきてワンワン泣きました。

ある日、盲腸患者が来ました。恐れていたことでした。バスや国鉄で送るのは無理で手術を決心しました。経験のないナース二人に手の消毒から機器の渡す順序を教えてメスを持ちました。麻酔をかける時から私も喉はカラカラでした。化膿した虫垂をやぶれないように取り出して皮膚縫合を終えた時は手術室の椅子に座り込んでしまいました。母親は廊下に座って頭を下

げてくれました。

田舎では恐る恐るやった手術だと思わず、二つ目も三つ目もやることになりました。お産までやらされました。

夏になると赤痢が出て来ました。井戸水を使っていたのでそれを使っている集落全員の検便、培養検査と徹夜が何日も続きました。秋が深まる頃やっとおさまりました。

冬来たりなば春遠からじ、札幌へ帰れることになりました。狭い村です。私が札幌へ帰ることがすぐ村中に知れ渡りました。村長が飛んで来ました。各集落の代表者が次々と玄関に来ました。大学へ帰りたい私はこちらから帰して下さいと頼んでいました。

札幌へ帰れなくなる

ある夜のことでした、玄関でカタンと音がしたので出てみると、胆石症の発作で往診していたキク婆さんが土間にうづくまっていました。私をみるなり「札幌さ帰らないでけれ、ここに居てけれ、私を又診てけれ」絶叫でした。私は土間へ降りてキク婆さんの手を握っている中に決心がつかしました。「キクさん、いるぞ。又診てやるぞ」「本当け、本当け、いてけるかい」キクさんは泣き乍ら私の手を痛いくらい握っていました。

何かと玄関に出て来た家内と目が合いました。うなづいてくれましたが、涙がこぼれていました。家内は、夜泣き乍ら荷物をほどこきました。

チリ地震津波霧多布を襲う

こんなことが毎年繰り返されて8年目。昭和35年5月24日チリ地震津波が一気に霧多布を襲って来ました。海拔ゼロの霧多布を10mをこえる津波が襲ってきたのですから街はどんどん壊されていきます。ゴーストタウンとなりました。半島だった霧多布が島になってしまい、私が始めて取り上げた女の子も含めて11人が波にのまれて帰って来ませんでした。

避難所に麻疹、水疱瘡が流行して、私は夜も寝ないで廻りました。

そして気がついたことは8年の中に2回も津波にやられて財産を失った村人が誰一人として村を捨てないことでした。

私は札幌へ帰ることをやめて村の復興にかけようと決心して家内に告げました。夕方、家内

が庭を指すので見ましたら桜の苗木を植えていました。3年先に、5年先に花をつけるのか分からない桜の木でした。しかし、私とそれ迄霧多布へ残るといふ家内の答えでした。今、立派に咲いて、日本最後のえぞ山桜と本に紹介されています。

昔風な封建的な霧多布は、医者としては認めてくれても霧多布人とはなかなか認めてくれませんでした。私はジレンマに陥りました。

浜中にロータリークラブを作る

そんな時でした。釧路から浜中にロータリークラブを作らないかと誘いがありました。釧路経済界の重鎮の方々が砂利道を2時間かけて、次々と霧多布へ来られ、ロータリーの楽しさを話してくれました。人が恋しくなり、語らいが楽しかった私はロータリー等よく分からず23人夢中で集めました。R Iへ申請して日本863番目のクラブとして認可されました。チャーターナイトには、道内外から何十人ものロータリアンが田舎まで来てくれました。10年来の友のようにお祝に来てくれました。ロータリアンの素晴らしさ、巾の広さを学びました。I.G.Fにも地区協、地区大会、ハワイの世界大会にまで足をのばしました。国が違い、言葉が違ってもバッチの下では皆対等、話が弾みました。医学界と云うタテ社会に生きてきた私にはロータリーは横の世界もあることを教えてくれました。イベントに参加する毎に友人が増えました。年賀状やクリスマスカードの量も多くなりました。それらは私の僻地医療のエネルギーになっていきました。

しかし、時代は変わっていきます。ラビツア会長がロータリーの衰退が始まっている。会員の減少がそれである。不況だけのせいではない。ロータリーの魅力を失ったからである。

ロータリーの魅力とは

厳しいテリトリー、一業種一人の職業分類、例会出席の義務、14段階の会員選考、バッチはその地域のステイタスであって入れて頂いたロータリーでした。85年ポリオ撲滅運動が動きだしてからロータリーは少しづつ変わってきました。会員増強と財団協力がロータリーの本筋のようになってきました。ポリオの資金不足にいらいらしたR.Iは、23-34号決議に八つ当

国際ロータリー第2550地区 9月会員増強・出席報告

たりしてヒストリドキュメントにしようとしてしました。渡辺理事、小沢理事は体を張ってこれを阻止しました。

ロータリーも変わっていきましたが、世の流れも大きく変わりました。コンビニができ、スーパーが多くなり、大企業は中小企業を合併・統合して商道德、ロータリーの高い倫理を無視して儲けに走りまわりました。

北海道では、拓銀が潰れました。白い恋人の不正、雪印の不正、又、ミートホープが食肉偽装で倒産しました。社長はロータリークラブで会長をやっていました。

海を渡って浅田農産が鳥インフルエンザを隠して3ヶ月で倒産しました。

三菱重工、パロマが故障を隠して人命を奪いました。全国チェーン不二家が子供の夢を奪いました。日本のブランド、赤福の不正も出てきました。日本の割烹、吉兆の不正が次々と出てきました。テレビで頭を下げた経営者がロータリアンであったのが残念でした。

故佐藤千寿PGの

落日の職業奉仕

職業奉仕はロータリーの化石なのか嘆き節が聞こえてきました。

こんな時には救世主が現れます。タイからピチャイ会長が出てきてブリスベンで「こんな時だからロータリーは原点にかえらねばならない。ロータリーの原点は職業奉仕である」拍手が起きました。

「商売とは心売る、信用を売る、誇りを売る、

満足を与え、感謝して代金を頂く、これが職業奉仕である」拍手は更に大きくなりました。

その後、ジョナサン会長、ボイド会長、エステス会長、ステンハマ会長、昨年ケニー会長と職業倫理、職業奉仕を重点目標に取りあげられました。職業奉仕はロータリーの中に完全に生き返ったのでした。

今年のレイ・クリングスミス会長は一般の人々にもロータリーは何かと分りやすく応えるために「地域を育み、大陸をつなぐ」のテーマを設定されました。

クラブ奉仕も職業奉仕とを組み合わせれば善良な市民たり得るだろうし、社会奉仕と職業奉仕とを組み合わせれば住み良い社会、地域となり、地域を育てるロータリーになるであろうし、強いてはロータリーの目標、世界平和に結びつくのではないかとこのテーマです。

R.Iは「四つのテスト」「ロータリーの職業宣言」がロータリー思想の中心であると言っていますが、言行に照らしての狭い分野なので、私は綱領、シェルドン、コリンズ、ガイガンディカー、道徳律、23-34号決議、大連宣言まで遡らなければロータリー哲学、ロータリー思想は理解できないと思っております。国際人瀬下ガバナーも職業奉仕を地区の活動として取り上げられております。地域に誠実、信用、信頼の職業奉仕の原点を展開する時、ロータリーは生き返ってくると信じております。

皆さん、ロータリーをもう一度地域に生き返らせましょう。ありがとうございました。

国際ロータリー第2550地区 2013~2014年度
ガバナーノミニー候補者推薦について

ガバナー 瀬下 龍夫

国際ロータリー細則第13条13.010ガバナーの指名と選挙に従い、地区内の各クラブで2013~2014年度ガバナーノミニー候補者がございましたら、2010年12月31日までにガバナー指名委員会委員長宛文書にて(書式任意)提案してください。

なお、推薦については、手続要覧の国際ロータリー細則第15条15.070~15.070.5 ガバナーノミニーの資格条件を満たす者であることを要します。

また、地区ガバナー指名委員会が地区ガバナーノミニーの選出を行うに際し、その選出の範囲は、国際ロータリー細則第13条13.020.5における規定に基づき地区内クラブによって提案された氏名に限定されるものではありません。

ご了承ください。

2013~2014年度選出 ガバナー指名委員会委員長 近藤 隆亮

区分	クラブ名	例会数	出席率		会員数							
			今月	平均	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員
第1グループ	大田原	4	80.37	80.98	39	39	0	0	0	0	0	2
	黒磯	5	93.40	97.27	44	42	0	1	0	2	-2	2
	西那須野	4	95.45	96.15	42	44	0	0	3	1	2	0
	黒羽	4	97.37	96.90	19	19	0	0	0	0	0	1
	那須	4	80.36	77.58	14	14	0	0	0	0	0	1
	塩原	5	69.10	73.02	10	11	0	0	1	0	1	0
	大田原中央	5	81.00	82.87	23	27	2	0	5	1	4	2
第2グループ	鳥山	4	92.85	92.85	14	14	0	0	0	0	0	1
	氏家	4	90.48	90.48	24	24	0	0	0	0	0	0
	矢板	4	63.40	63.52	31	31	0	0	0	0	0	5
	馬頭小川	4	92.00	93.00	21	21	0	0	0	0	0	0
	高根沢	3	72.22	71.41	18	18	0	0	0	0	0	0
第3グループA	宇都宮	3	76.50	75.67	92	93	1	0	2	1	1	1
	宇都宮西	5	90.24	88.58	66	70	1	0	4	0	4	0
	宇都宮北	4	83.75	81.96	49	49	0	0	0	0	0	0
	宇都宮90	3	92.11	87.70	39	39	0	0	0	0	0	5
	宇都宮陽北	3	75.26	78.59	35	35	0	0	0	0	0	4
第3グループB	宇都宮東	4	91.30	92.86	95	96	2	0	2	1	1	0
	宇都宮南	5	90.20	84.38	51	51	0	0	0	0	0	0
	宇都宮陽東	4	72.00	68.37	44	46	1	0	2	0	2	0
	宇都宮陽南	4	80.00	86.18	20	20	0	0	0	0	0	3
第4グループ	真岡	4	85.60	89.17	50	50	0	0	1	1	0	0
	益子	5	89.80	91.27	29	31	0	0	2	0	2	0
	真岡西	4	93.59	94.57	40	40	0	0	0	0	0	6
	しもつけ	4	91.40	94.32	33	32	0	0	0	1	-1	8
第5グループ	小山	4	99.00	97.50	39	39	0	0	0	0	0	0
	小山南	4	96.05	93.89	18	19	0	0	1	0	1	2
	小山東	4	95.46	94.37	33	33	0	0	0	0	0	0
	小山北	5	86.67	84.45	20	21	0	0	1	0	1	0
	小山中央	3	80.60	84.03	24	24	0	0	0	0	0	1
第6グループ	栃木	5	84.04	81.19	41	41	0	0	0	0	0	0
	栃木西	4	80.55	83.09	35	36	0	0	1	0	1	0
	壬生	4	100.00	92.50	21	21	0	0	0	0	0	3
	栃木南	5	90.40	90.13	31	31	0	0	0	0	0	5
第7グループ	日光	4	61.33	69.58	24	24	0	0	0	0	0	5
	鹿沼	5	83.93	82.41	66	66	0	0	0	0	0	1
	今市	6	90.31	91.17	41	42	0	0	1	0	1	0
	鹿沼東	4	92.84	93.85	43	45	0	0	2	0	2	3
	栗野西方	4	76.75	83.52	14	14	0	0	0	0	0	1
	鹿沼中央	4	86.11	87.96	27	27	0	0	0	0	0	2
	今市きぬ	4	83.75	94.34	28	28	0	0	0	0	0	0
第8グループ	足利	4	81.63	75.80	40	39	0	1	1	2	-1	0
	足利東	3	81.80	81.80	55	59	0	0	4	0	4	8
	足利西	4	67.28	74.98	13	13	0	0	0	0	0	0
	足利わたらせ	4	94.65	93.75	28	28	0	0	0	0	0	0
第9グループ	佐野	3	91.30	93.12	58	58	0	0	0	0	0	0
	葛生	4	96.50	92.93	38	38	0	0	0	0	0	0
	田沼	3	87.21	91.02	35	36	0	0	1	0	1	0
	佐野東	3	86.96	89.05	21	23	0	0	2	0	2	0
	岩舟	4	93.00	92.33	22	22	0	0	0	0	0	1
	50RC		85.96	86.37	1757	1783	7	2	36	10	26	73